

JARL

香川クラブ報

No. 325 平成14年12月15日

クラブミーティング (11月20日 グリーンハウスにおいて)



忘年会のご案内

今年も一年いろいろな事がありました、皆様方はいかがでしたか。

スポーツの世界で今年の話は、何といてもサッカーのワールドカップ だったでしょう。日本は大方の予想を覆し予選リーグをトップで通過し、また共同開催国の韓国はベスト4に残る大活躍でサッカーの新しい夜明けを迎えたと言っても過言ではないでしょう。

また先日は、野球界において日本プロ野球の主砲とも言える松井選手が栄光の座を捨ててまでアメリカ大リーグに移籍することになりました。

さらに近鉄バッファローズの中村選手も大リーグ移籍を視野においた行動を取り、日本プロ野球の空洞化が懸念される状態になりつつあり、どうなるのか心配もあります。

しかし、何といても今年最大の話は北朝鮮による日本人拉致事件の発覚でしょう。以前から問題にされながら、日本と北朝鮮に国交が無くおざなりにされてきた問題がやっと北朝鮮工作船銃撃事件から一気に進み、北朝鮮が日本人拉致を認め5人の日本人拉致被害者が帰国という事態にまで進展しましたが、残された被害者の子供達の問題、5人以外の死亡したとされる人達の問題、さらに拉致自体が未確認の数十名の安否、核疑惑、安全保障、戦後処理など難問が蓄積しており、まだまだ予断が許されない状況にあります。最も近くで最も遠い国「北朝鮮民主主義共和国」。一日も早い平和と友好を取り戻せるよう願わずにはおれません。

平和といえば、中東のイラクでまたアメリカのゴリ押しとも言えなくもない、国連による大量兵器査察が始まりました。昨年のテロ事件以来アメリカは疑心暗鬼に陥り、アフガニスタンを制圧し、今度はイラクを制圧すべく準備を整えようとしています。

先般の選挙で共和党が上・下院の過半数を占め、見かけ上ブッシュ大統領の政策が国民から承認されたからに他なりません。平和を勘違いしているアメリカに追随する日本の姿勢に不安を感じているのは私だけでしょうか？

ところで、残すところ今年も後わずかとりましたが、フィールドディーを始め各種コンテストやARDFにも積極的に参加し実りの多い年でした。

そこで表題のとおり、クラブ恒例の忘年会を下記のとおり開催いたします。年末のお忙しい時期ではありますが万障お繰り合わせの上、ご参加されますようご案内申し上げます。

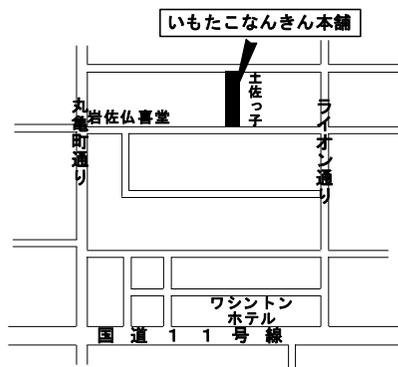
記

日 時： 12月18日(水)
19:00から
場 所： 「いもたこなんきん本舗」
高松市古馬場7-10
(TEL:0120-168203)

会 費： 男性 5,000円
女性 4,000円

申し込み： 締め切り12月13日(金) 厳守

連絡先： JH5EZB
JE5PBO



クラブミーティングの報告

11月20日(水)に東ハゼ町のグリーンハウスにおいて、今年最後のクラブミーティングを開催しました。

天野会長のあいさつに続き、さっそく議題に入りました。

まず始めに忘年会について検討されました。

あまり遅くなっても消防団の夜回り等の関係で参加しにくい会員がいる。

週末は他の忘年会と重なる人が多いのではないか。ということで、昨年とほぼ同じ時期にしてはどうかと言うことになりました。

そこで、日にちは？時間は？場所は？会費は？などと質問が出る度に、そこは息の合った仲間同士。30分もしないうちに次々と決定し、総括したら参加者全員一致で賛成し決定しました。(詳細は1ページのとおり)

次に香川マラソンコンテストについて検討しましたが、クラブとして出来る限り協力して行くということで、今年もクラブ局として参加することになりました。

今年はいさ少し趣向を変え、運用を出来る限り会員相互で分担しようと言うことで検討した結果、下記の日程と運用者でコンテストに参加することになりました。運用される方の都合により電波を出す時間は決まっていますが、「JA5YDE/5香川マラソンコンテスト参加中」の声が聞こえたら積極的なサービスをお願いいたします。



今年のクラブ行事も「香川マラソンコンテスト」への参加と「忘年会」のみとなりましたが、1人でもたくさんの参加でクラブの活動を多いに盛り上げるようお願いいたします。

香川マラソンコンテスト運用計画

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
運用者	JA5TFJ	JH5WMN	JG5OBX	JH5PMZ	JF5ICA	JI5XTP									

<参加者> JA5AHM・JA5TFJ・JH5LYW・JH5EZB・JH5PMZ・JH5WMN
JE5PBO・JF5ICA・JG5OBX・JI5SAO・JI5XTP

香川マラソンコンテストに参加しましょう

12月1日(日)から15日(日)

ARDFに参加しました

広島県ARDF競技大会

JF5MED

広島県ARDF競技大会 10月27日 広島県高田郡向原町若者センター周辺

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備考
YL	2位	JF5ICB	1:24:17	3個	
OM	2位	JF5MED	1:12:04	5個	
OT	7位	JA5TOP	1:42:36	3個	

夏の蟬の声が消えかかる九月中旬、さぬき市大串自然公園での北四国 ARDF 大会での審判長から始まった私と ARDF との今シーズンのつき合いは 10 月に入り一層忙しいものとなってきました。調整を兼ねた練習を含むと 10 月の半ばの連休から 11 月の祭日全てを ARDF か OL 大会に力を入れることとなります。

日頃の体調管理がうちの奥さん不在(産休で実家に)のため私自身で管理しなければならず、健康面にやや不安を残しつつも懲りずに ARDF 行脚を続けているのです。

大事な大会では、以前の栄光(2000 全日本一位)がプレッシャーとなり、参加する大会では良い結果を残さなければならないと言う自分自身との戦いでもあります。

10月28日は広島県支部のARDF競技が高田郡向原町周辺でおこなわれました。競技地図はいつもの白黒でなくカラーで選手には好評だったようです。天候は、寒波の到来のために朝から冷え込み競技の服装も普段より一枚多く羽織り競技に臨みました。

競技はTXの隠し方としては理想的なゴールを中心とした扇形の配置で、高低を利用して電波の強弱を意図的にコントロールしており、設定者の技量が窺えました。

スタートしてまもなく、2番TX付近にいると思うのに見当たらない。ふと気が付けば行き過ぎており、いつもと違う受信感覚に「受信機の故障では？」と受信機を見てしまいました。競技終了後にその2番TXが故障しており、送信機の出力が規定値ほど出ていないことが審判長からの説明で明らかになりました。次に1番TXが強力に入感し、受信機をかざす方向には見晴らしの良さそうな小山があり、遊歩道を駆け上がり難く捕獲しました。見晴らしの良さそうなポイントで残りの3つを測方しました。地図上の向かう先には5番TXが待ち構えております。競技エリア南面には結構山々が並んでいますが、入念な測方のお陰で5番TXはいとも簡単に捕獲出来ました。その後、残り3番・4番TXを難なく捕獲し、残すはゴールまでのタイム争いとなりました。

ところがゴールまでの地図をよく見ていなかったのと、ビーコンも聞いていなかったせいで見当違いの方角に進んでいることに気がつきました。慌てて引き返すも民家の密集地帯のためなかなか地図と自分のいる所が一致できず、方位とゴール際が目印となる小山の角度からだいたい場所を推測しその方面に向かいました。

ゴールに近づくとつれ、選手の影もちらほらと見るようになり内心安堵感がこみ上げてきました。思い込みというもの怖いモノでゴール地点でのゴール走行ラインが見えるまで「本当にこっちだろうか？」と疑心暗鬼に陥りながらも、ゴールの走行ラインが見えた時は本当に嬉しかったです。ゴールタイムは、1時間12分04秒とまずまずでした。

競技後、帰路にて久しぶりに反省及び課題点が浮き彫りとなった事を友人達にけなされながらもワイワイ楽しく一日を過ごすことが出来ました。

中国地方ARDF競技大会

J F 5 M E D

中国地方ARDF競技大会 11月3日

岡山県御津郡円城ふるさと村周辺

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備考
YL	2位	J F 5 I C B	1 : 2 1 : 0 9	4個	
OT	2位	J F 5 I C A	1 : 0 5 : 1 1	4個	
	8位	J G 5 O B X	1 : 5 6 : 4 0	2個	
スーパー	3位	J F 5 M E D	3 : 1 7 : 1 0	8個	
ファミリー	2位	J F 5 E A P J I 5 V W A	2 : 0 3 : 5 0	3個	

季節はめっきり秋の模様になり始めた11月3日、岡山県御津郡加茂川町において中国地方ARDF競技大会が行われました。当日の天候はくもり時々小雨でした。

今回は、144及び3.5MHz帯の同時運用（中国地方では初めての3.5MHz帯のJARL公認大会）で競技が行われました。そして、この両周波数帯のTXをすべて見つけてくる新部門（合計10TX及び探査時間200分）のスーパーFOX部門に私は選手として参加しました。

ARDF競技を始めて15年余り経ちますが3.5MHz帯には初チャレンジでした。事前に3.5MHz帯のトレーニングをしたので、内心「あわよくばパーフェクトを」と期待を込めて競技に臨みました。一緒に参加の選手はどの人も強敵揃いでしたが、私と同世代の選手の参加がなく少し残念な気持ちになりました。

スーパーFOX部門は競技時間が長いのでスタート開始時間は第1組に設定されており、開会式終了後直ちにスタート地点へ移動です。とりあえずいつでもスタート出来る様にとリュックを背負い、その中に3.5MHz帯用受信機やら携帯用の水筒などを入れて持ち歩きました。他の選手も似た様な格好で競技に臨んでいましたので、今後もこの部門が有れば同じ格好になるだろうと思います。

さて、受信開始地点において最初の5分は144MHz帯(1~5TX)を全て聞き、続いて3.5MHz帯(6~10TX)を測方。方角や電解の強さを地図に書き込みながらその日の攻略方法を考えました。3.5MHz帯は方角さえ出せば後は目星を付けたそのエリアに行く事でどうかなると思った私は、とりあえず144MHz帯の1番TXを目指しました。捕獲までに20分程掛かりましたが今回は長丁場、あせる事なく2・3番TXを捕獲しました。3番TXの付近に6番TXが隠されているものと推測し、ここと思うめばしい木々に目を向けましたが見当たりません。スタートから2時間近く経ち「この辺りが潮時かと」思った頃にやっと捕獲。隠してあった場所は自転車置き場の中で、ANTは低く、おまけにANTと建物が干渉していたみたいでおかしな伝搬をしていました。気を取り直して次の5番TXを捕獲。さらに近辺に隠されている9番TXをと受信機を切り替えて測方すると、後方から聞こえ慌てて引き返す事になりました。5番TX捕獲に夢中になりすぎ9番TXの真横を素通りしていたのですが、そんなに苦勞せずすんなりと捕獲することが出来ました。

競技も残すところ1時間程で、体力を考えるとさらに遠方へ行くのは無謀と判断、最終ゴールエリアへと向かいました。当初の測方によるとゴール近辺には少なくとも3つのTXが点在していると判断していたためです。まず4番TXを捕獲し、144MHz帯は終了。急いで受信機をリュックに詰め3.5MHz帯のTXを測方するも、正しい方角と距離が出せず結構時間を費やしましたが、何とか8番TXの捕獲に成功しました。

いよいよ残り時間も30分を切ったので10番TXへ向かいました。途中ゴール走行

ラインが見えましたがそこは素通り、競技を終えたギャラリーから声援を浴びながら急ぎました。10番TXはお寺の裏山あたり、林の中でも十分管理されており走行可能度が高い場所でした。残り時間がわずか7～8分。「最後の一鳴き勝負だな」と判断。ラスト一回の受信にすべてを賭けました。送信と同時に境内から裏山の中へ。近くまで追い込んだと思いましたが、今一步という所で時間切れ。失格になる事をおそれ急ぎゴールへと向かいました。何とか無事にゴールラインをくぐり抜けましたが、持ち時間は3分しか残りませんでした。フルに動き回った疲れも感じさせること無く無事に競技を終えることが出来、内心次回こそはパーフェクト検索をと思う中国地方大会でした。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。
特に、家族会員の方が十分に把握できていません。
せっかく取得したコールサインを流し、また再開局するのは不経済です。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

**Eメール： JH5WMN
JH5LYW**

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成14年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくをお願いします。

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天野 英弘
編集者	JH5LYW	三好 伸幸
	JH5WMN	山口 博司
	JE5PBO	岡田 光